

第
33
回

母乳育児シンポジウム

場所：東京都千代田区・一橋講堂

2025 **8/30** (土)
31 (日)赤ちゃんの力・お母さんの力を
引きだす母乳育児—今の時代に—8/30
(土)

ベビーフレンドリー母乳育児支援施設認定発表

特別講演 「母乳が整える子の腸内細菌叢—脳腸相関との関係—」

永岡 謙太郎 東京農工大学大学院農学研究院動物生命科学部門 教授

ワークショップ 「NICUにおける母乳育児を考える」

- BFNICU(Baby Friendly NICU)認定の意義、取り組み、課題
- 母乳栄養を支えるためのNICUの取り組み
- 総合周産期センターにおけるファミリーセンタードケアと母乳育児支援の取り組み

シンポジウム1 「できることから始めよう10カ条 —どんな時でも母乳育児ができるように—」

<基調：母乳育児成功のための10カ条とは>

- 全国分娩施設アンケートから
- 母子同室・頻回授乳の実践と課題
- 日齢0の母子同室の課題
- 帝王切開分娩後のSTS(早期母子接触)導入への道
- 高年齢出産の母親への母乳育児支援

報告 日本における「赤ちゃんにやさしい病院・BFH」年間データ発表/日本母乳の会データ管理委員会

乳頭ケア実践研修(別途申込者のみ)

9:45
17:508/31
(日)

シンポジウム2 「時代とともに 母乳育児—変えてはいけないもの・変わっていくもの」

<基調：母乳育児を取り巻く社会の変化> ●混合病棟における課題と対応 ●混合病棟で母乳育児支援に携わる助産師の意識調査 ●母親の変化、混合栄養希望の母への支援 ●精神的リスクをかかえた母親への母乳育児支援

基調講演 「赤ちゃんはどう見えているの。赤ちゃん目線になってみよう」

笠松 堅實(産) 笠松産婦人科・小児科

シンポジウム3 「赤ちゃん目線の産後ケア」

- クリニックでの産後ケア
- 病院での訪問型産後ケア
- 開業助産所での産後ケア
- コロナ禍を経て病院での産後ケアの取り組みを始めて
- 行政が取り組む産後ケア

報告 関東地区の自治体の母乳育児支援への取り組みの現状調査

9:15
16:10

主催：一般社団法人日本母乳の会

後援：UNICEF東京事務所 子ども家庭庁 日本産科婦人科学会 日本小児科学会 日本小児科医会 日本新生児育成医学会 日本周産期・新生児医学会 日本助産師会 日本看護協会 東京都医師会 東京産婦人科医会 東京小児科医会 東京都看護協会 東京都助産師会 東京都 (申請中も含む)

<事務局> ■実行委員長：永山 善久 (長岡療育園・日本母乳の会代表理事)

■副実行委員長：秋葉 和敬 (秋葉産婦人科)

■一般社団法人日本母乳の会

〒165-0026 東京都中野区新井 3-9-4 TEL. 03-5318-7383 FAX. 03-5318-7384

【E-mail】sympo@jbabf.or.jp 【HP】https://jbabf.smoozy.atlas.jp/ja

参加費

■会員/10000円+税 ■未会員/12000円+税

■学生・一般(有資格者は除く)/3000円+税

■乳頭ケア実践研修/2000円+税

申し込み
方法

日本母乳の会ホームページから申込用紙をダウンロードし FAXでお申し込みいただくか、右記2次元コードよりチケット専用サイトpeatixにアクセスし、チケットをお求めください。

日本専門医機構(領域講習)小児科医、産婦人科医各1単位、学術集會参加5点、日本産婦人科医会研修参加証(シール)申請中

日本助産評価機構のアドバンス助産師更新「選択研修」・日本助産師会産後ケア実務助産師研修に該当

peatix

33thシンポジウム

専用2次元コード

